

うかがいます

福祉

シルバー人材センター業種拡大を

会員活用に協力

問

高齢化が急速に進展し対策を講じなければいけません。さらに意欲と能力に応じた就業機会を確保提供し社会を支える立場である高齢者を増やしていくことが急務であり、営利目的な事業にすることでなく、あくまで自主・自立・協働・共助を基本理念としてのシルバー人材センターの役割が重要視されています。

現在、運営されている業種は5分類に分かれています。分類ごとの業種拡大を希望します。現在の分類にあてはまらない方々の人材確保が期待でき、多様な職種をお持ちの高齢者の意欲と能力をいかすには軽易な仕事以外にも本格的な仕事を支援すべきでは、町長の見解を。

答 平松町長

これからシルバー人材センターが果たしていく役割は大きいと思っています。現在、シルバー人材センターは法人格となり、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、運営されています。

町内には、さまざまな能力や技術、意欲を持った高齢者の方が多くいらっしゃいます。この方々に今後の須恵町のまちづくりで大いに活躍していただくため、法人格とは別の部分で、シルバー人材センターと協力していきたいと思っています。



答弁中の平松町長



白水 春夫 議員

環境

登山道の環境整備を

トイレの常設は考えていない

問

本年1月28日にKBCテレビの共催で須恵町のPRとして須恵町登山部6名で参加をいたしました。当日は皿山公園を9時に出発して9時45分頃に展望所に到着しました。10時過ぎからKBCのディレクターの指導でリハーサルを5〜6回させられ、11時4分〜9分までの5分間の生中継でした。

いよいよ始まったらガスがかり、博多湾、空港までも見えなくなり、雨も降り出し、寒さに耐えながらの生中継はあつと言う間に終了しました。展望所では、1時間30分ほど待っている間にトイレを催し、我慢していました。

答 平松町長

岳城山は短時間で登れるため、健康対策として登られている人が多いようです。そのため、頂上で長時間過ごされる人は少なく、管理等を考える必要はないと考えています。将来的に頂上でイベント等を行う場合は、簡易的なトイレの設置等に対応していきます。



田原 重美 議員



役場庁舎から見た岳城山



シルバー人材センター事務局



須恵町シルバー人材センターホームページ